

上宮寺通信

第二十七号

他力の世界

日本選手のメダルラッシュで盛り上がった東京オリンピック。数々の感動シーンに私もテレビに釘付けになってしまいました。

開催が一年延期となり身心ともに調整がとて難しかったでしょうが、アスリートたちは誰ひとり、そのことに愚痴を言わず、支えてくれた人たちに感謝し、この舞台に立てる喜びを語っていました。

先日、ある法座の席でスポーツと仏教(宗教)は似ているのではないかと言われる人がいました。その人いわくスポーツも仏教も同じように、

①目標(賞りや金メダル)を掲げ、そこに向かって一生懸命に努力する。

②日々の食事や行動など、目標とは直接結びつかないようなことが結果的には大きな影響を及ぼしている。

③目標に向けてその道を求めれば求めるほど、自分ひとりの力ではなく、周りの支えがあったからこそという感謝の気持ち芽生えてくる。

以上の3点が共通すると言われるのです。

①は求道心です。道を求める心。これはスポーツや仏教に限らず、何をするにしても大事な心です。これをやりたい、こうなりたいと願う心です。

②は縁起をあらわしています。

す。物事は互いに数えきれないほどの関係を持っていて反映しあっているということであらわしています。何ひとつ無駄なものはないという世界観です。

③は覚りの境地といってもいかもできません。自分が力を尽くすことができたのも、周りの人、環境のおかげと感謝できる世界をいただくことができます。

こういうことからスポーツと仏教(宗教)は似ていると言われたのです。

特に③は自力と他力の問題にも通じます。他力本願とは浄土真宗の教えの本質を表す大切な言葉なのですが、世間的には自分は何もせずに人任せにするという意味合いであり良い意味

では使われません。

しかし、本来の他力本願とはまさに③の心境だと思うので、自分が精一杯力を尽くすことができる(自力)のも、私に関わってくれた人、すべての事柄のおかげ、私一人の力ではない(他力)と気づくことなのです。

オリンピックの選手たちは皆、口々に感謝の言葉を述べていました。まさに、この他力の世界に触れた言葉として聞こえてきます。



◆行事案内

上宮寺の行事

秋季彼岸会・永代経法要
9月8日(水) 午前10時

※愛知県に緊急事態宣言が発出されたため、内勤め(参詣者なし)でお勤めさせていただきます。

本山報恩講団体参拝(日帰り)

11月24日(水)

東本願寺報恩講(速夜)参拝、

北野天満宮見学 他

参加費 一四、〇〇〇円

定員 45名(定員になり次第締切)

※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては変更する場合があります。

◆話題あれこれ

○今年のお盆は梅雨に戻ったかのように連日、雨模様でした。足元が悪い中、たくさんの方にお参りをいただきありがとうございます。

○秋のお彼岸・永代経法要は、緊急事態宣言発出のため、参詣者なしで法要を勤めさせていただきました。ご参詣を予定されていた方にはたいへん申し訳ありませんが、ご理解いただきありがとうございます。

○本山・東本願寺報恩講団体参拝を11月24日に行います。報恩講参拝の他に、北野天満宮の「御土居もみじ苑」を見学する予定です。ただ愛知県や京都府の感染状況によつては中止となることもありまのでご了承ください。

○例年、10月に行っています雅楽の演奏会は昨年引き続き中止となりました。思うように集まっても稽古ができないのが大きな理由です。来年は開催できることを信じています。

○8月中旬の大雨は各地に被害が出ました。これから台風シーズンがやってきます。お気を付けください。

○コロナワクチン接種を済ませた方もどうか油断することなく、感染予防をしっかりとしてお過ごしください。

【雑感】

お盆過ぎに1回目のコロナワクチン(モデルナ製)接種を行いました。少しの腕の痛みと倦怠感だけで、大した副反応もなく安心していただけですが、びっくりするニュースが流れてきました。なんとワクチンに異物が混入していたものがあったとのこと。心配になってロット番号を確かめたら、まさにその番号!宝くじも年賀状のお年玉くじも当たらないのに、こんなときだけ数字が揃うなんて(涙)。9月中旬に2回目の接種がありますが、不安のほうが大きくなってきました。

(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052-871-0547

